



【はにわマンホール、もう見ましたか？】

松阪市文化財センターの近く、鈴の森公園内には「はにわマンホール」が2ヶ所設置されています。

「はにわマンホール」は、国宝に指定された三重県宝塚一号墳出土埴輪を代表する船形埴輪がマンホールになったものです。

マンホールは、船形埴輪を当時塗られていたとされる赤色とし、周囲を日本の伝統模様である青海波とすることで、大海原を行く船をイメージしています。

また、模様を囲うように「国宝 三重県宝塚一号墳出土埴輪」の文字を日本語と英語で書き入れることで、知らない方が見ても一目でわかるようにデザインされています。

まだ「はにわマンホール」を見ていない人はぜひ、マンホールと船形埴輪の実物を見に来てください。（担当）



はにわマンホール

【令和7年10月：古墳時代の船形埴輪について】 ～所長からひと言～

昨年、国宝となった船形埴輪について、その意味について学者の方々の意見として大きく2つの解釈を紹介します。

一つは現実にあった船を埴輪で表したとする説です。宝塚1号墳に葬られた人は、伊勢平野最大の影響力を持っていたと思われ、その影響力は眼前に広がる伊勢湾にも及んでいたと考えられます。そのため、伊勢の王の船にふさわしい生前所有していた船を埴輪で表したものという考えです。

もう一つは、亡くなった王が彼方へ行くのに乗った船とする説です。造り出し後方の土橋にむけて停泊した船は、古墳という彼方に王を運んだとみる説です。亡くなった王はカミとなり、地域集団の守り神のような存在として古墳におり、集団の心の支えとなったという考えです。

いずれの考えも納得させるところですが、現状では両方の考えがあることを、併記するとどめておきたいと思います。



国宝 船形埴輪

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】 入館料110円 ※秋季特別展(10月25日～12月14日)は 入館料300円 18歳以下無料
開館時間9:00～17:00 入館は16:30まで

第1展示室 常設展 「宝塚古墳の謎」
第2展示室 秋季特別展 「西のはにわと、東のはにわ ～はにわ文化のひろがり～」
10月25日(土)～12月14日(日)

【秋季企画展 関連行事】

◆ミュージアムトーク ※事前申込不要

10月25日(土) 13時半～14時半 はにわ館 第2展示室

◆ワークショップ 「ステンシルで遊ぼう」 ※事前申込必要

ステンシルという技法で、オリジナルのトートバックやランチョンマットを作ります。

11月 1日(土)

午前の部：10時～12時 午後の部：13時半～15時半 文化財センター

- ・参加費：500円
- ・定員：各回ともトートバック、ランチョンマットそれぞれ10人
- ・募集期間：10月22日(水)9時～10月30日(木)17時まで
- ・申込方法：Webまたは電話で文化財センターへ
- ・その他：募集期間内であっても定員になり次第申込を締め切ります。



▲Web申込

◆講演会 「保渡田八幡塚古墳出土埴輪からわかること、保渡田八幡塚古墳の整備からわかること」 ※事前申込必要

11月16日(日) 13時半～15時

- ・場所：松阪市産業振興センター 3階研修ホール
- ・講師：清水 豊氏(かみつけの里博物館学芸員)
- ・定員：180人
- ・募集期間：11月 5日(水)9時～11月14日(金)17時まで
- ・申込方法：Webまたは電話で文化財センターへ
- ・その他：募集期間内であっても定員になり次第申込を締め切ります。



▲Web申込

【ギャラリー】 入場無料

第1～3G ◆第66回松阪市美術展覧会 第1部(絵画、彫刻・工芸)
10月 5日(日)～10月12日(日) 9時半～16時半 ※最終日は15時まで

第1～3G ◆第66回松阪市美術展覧会 第2部(写真、書道)
10月26日(日)～11月 2日(日) 9時半～16時半 ※最終日は15時まで

< 10月の休館日 14日(火) 20日(月) >

【発行】松阪市文化財センター

【☎】0598-26-7330

文化財センターの情報はこちら →

【FAX】0598-26-7374

【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

